

パレスチナオリーブオイルの供給を担っている(株)オルター・トレード・ジャパン(以下「ATJ」)から、ATJが取り組んだ『「ガザ地区の恒久停戦とパレスチナの和平を求める」声明』と、『ガザ地区緊急支援キャンペーン』の活動報告が届きました。

わたしたちは、生活クラブ生活協同組合として、この声明に賛同し、緊急支援キャンペーンでは、カンパを送りました。

イスラエルは、イランへも攻撃を始めました。報道は、センセーショナルな方を伝えますので、何も終わっていないパレスチナの現状は、なかなか伝わっては来ません。前回のさざなみ号外にも掲載した、滋賀に交流会に来てくれた生産者の言葉を再掲します。わたしたちひとりひとりの力は小さいですが、決して無力ではありません。できることをやり続けましょう。



生産者交流会で、わたしたちにできることは何でしょうか。という問いに対し、生産者は、「オリーブオイルを利用し続けてもらうことが、わたしたちとのつながり続け、強くしていくこととなります。みなさんが食べ続けてくださることが、わたしたちの暮らしを支えてくださることになります。そして、パレスチナを見続けていただきたい。」と話してくれました。

☆ATJ からのメールと、メールとともに届いた報告書をお届けします。



この度は「ガザ地区の恒久的停戦とパレスチナの和平を求める」声明に

団体賛同をいただき、誠にありがとうございました。生活クラブからは連合会及び関西を含む 16 の単協からご賛同を頂きました。賛同署名も 5 月 15 日で終了しました。簡単ではございますが、報告をお送りいたします。

ガザ地区とヨルダン川西岸地区ではまだイスラエル軍によるジェノサイド、軍事攻撃が継続しています。今後もオリーブオイルを通して現地とつながっている団体として、パレスチナの和平のためにできる限りのことをしていく所存です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



URL <https://altertrade.jp>



2025年6月2日

生活クラブ大阪	様
生活クラブ京都エルコープ	様
生活クラブ奈良	様
生活クラブ滋賀	様
エスコープ大阪	様
生活クラブ都市生活	様

(株)オルター・トレード・ジャパン

代表取締役 山下万里子

ガザ地区緊急支援キャンペーン活動報告

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2023年10月以降のイスラエル軍によるガザ地区でのジェノサイド（集団殺戮）がもたらした破壊的な被害に対して、パレスチナのオリーブオイルの2つの出荷団体、アルリーフ（Al-Reef）社（パレスチナ農業復興委員会 PARC のフェアトレード事業会社）、及びパレスチナ農業開発センター（UAWC）では海外の関係団体に寄付を呼びかけて、翌11月初めより物資の緊急支援を始めました。両団体からの支援要請を受けて、日本国内でもご協力を呼びかけたところ、多数の団体・個人の方から総額 35,696,930 円もの募金を頂き、送金することができました。改めまして、皆さまのご支援に心より感謝の意を申し上げる次第です。

今年2月に UAWC より「ガザの飢餓を止めろ」キャンペーン、4月にアルリーフ社より「ガザ地区に希望を」キャンペーンの支援活動中間報告を受け取りましたので、ご報告致します。日本からの支援金はアルリーフ社の活動に活用されましたが、PARC はアルリーフ社とは別途に海外からの寄付をもとに支援活動を展開してきました。その支援実績も添付します。

敬具



2025 年 6 月 4 日

生活クラブ滋賀

理事長 秋久保 由紀様

(株)オルター・トレード・ジャパン

取締役社長 山下 万里子

「ガザ地区の恒久的停戦とパレスチナの和平を求める」賛同署名ご報告

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ATJ は「パレスチナの和平を求めるアクション実行委員会」のメンバーとして、パレスチナで活動する NGO とともに「ガザ地区の恒久的停戦とパレスチナの和平を求める」声明を発表し、広く団体・個人の賛同署名を集め、外務大臣及び関係議員へ提出しました。

多くの方にご署名ならびに情報拡散にご協力いただき、誠にありがとうございました。

最終的に以下団体・個人の方から署名をいただきましたのでご報告申し上げます。

敬具

記

< 賛同者 / 2025 年 5 月 15 日集計 >

団体 : 309 団体 個人 : 4329 名 (非公開含む)



賛同者の詳細は以下よりご確認ください。

https://www.ngo-jvc.net/activity/advocacy/20250310_gazastatement.html

※ページ下部に記載されています。

以上



報告：2025 年 4 月 16 日

ガザ地区に希望を 募金キャンペーン報告

➤ キャンペーンの目的

2023 年 10 月 7 日以降に始まったガザ地区でのジェノサイドに対応し、アルリーフ社（オリーブ出荷団体の一つパレスチナ農業復興委員会/PARC のフェアトレード事業会社）は、2023 年 10 月 22 日に募金キャンペーン「ガザ地区に希望を」を開始しました。このキャンペーンの目的は、イスラエル占領軍による侵攻の影響を軽減することにあります。この侵攻により、ガザ地区では貧困が深刻化、大規模な破壊、死亡者 64,000 人以上、負傷者 111,000 人以上、住居の破壊と喪失がもたらされ、食料・清潔な水・生活必需品の喫緊の必要性が増しています。アルリーフ社は、難民キャンプや国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）の学校、その他の避難所に避難している人々に対し、食料などの人道支援物資を送ることで支援を行っています。

国連によると、戦争中にガザ地区全体で少なくとも 190 万人（人口の約 90%）が避難を強いられ、繰り返し避難し、中には 10 回以上避難している人もいます。2025 年 1 月からの停戦は 3 月 18 日のイスラエルによるガザ地区への爆撃により破られ、わずか 1 ヶ月で 1,630 人以上が死亡し、50 万人以上が再び避難を強いられました。ガザ地区では全住宅の 92%が損傷または破壊されました。今でも緊急支援、避難所、生活必需品の差し迫ったニーズがあり、復興には 530 億ドル以上が必要と見積もられています。

2025 年 3 月 2 日から過去 2 ヶ月間、イスラエルはラマダン期間中、支援物資トラックのガザ地区への搬入を止めていますが、アルリーフ社は引き続きキャンペーンを継続し、支援を届ける機会を待っています。

➤ 寄付者（2025 年 4 月 16 日現在）

アルリーフ社は、このキャンペーンを通じて 747,112 シェケル（約 2985 万円）を集めました。このキャンペーンは、フェアトレード団体、消費者、ボランティア、パレスチナ連帯運動など、国際的なパートナーを通じて広く宣伝されました。多くの国から銀行振込や契約締結を通じて寄付が寄せられました。

➤ 寄付元の国と団体：

- 日本：互惠のためのアジア民衆基金（APF） ※生協、団体、個人からの募金集約
- スイス：Kampagne Olivenöl aus Palästina
- ベルギー：Oxfam Fair Trade
- イタリア：Altromercato CTM
- フランス：Artisans Du Monde

- パレスチナ：Palestinian Food Industries Union

➤ 寄付金の使用用途

アルリーフ社は、西岸地区のパレスチナ人農家から以下の農産品を購入するために寄付金を活用しています：

- マジョールデーツ（ナツメヤシ）・ペースト（1kg パック）
- ザアタル（タイムスパイス）（1kg パック）
- フリーケ（緑のロースト小麦）（700g パック）
- エキストラバージン・オリーブオイル（3 リットルボトル）
- その他適した食品

これらの製品は、栄養価が高く、簡単な調理で摂取でき、常温での長期保存が可能なため、ガザの状況に適しているものです。

➤ キャンペーンの流れ

アルリーフ社は、西岸地区の農家から食品を購入することで、経済的に困難な状況にある農家の支援も行っています。第1便では、ザアタル、マジョールデーツ・ペースト、フリーケを計 20 パレット準備しました。

2024 年 5 月、イスラエルによりガザ地区との国境が閉鎖された後、南部のカレム・アブ・サレム検問所経由で支援物資を搬入できる可能性があると通知されました。2024 年 5 月 26 日に支援物資を積み込みましたが、イスラエル当局はパレスチナ側の支援トラックの通行を再度禁止し、わずかなトラックだけが通過を許可され、その後長期間に渡って国境は再び閉鎖されました。

このため、アルリーフ社は品質保持のため、西岸地区北部のトゥルカレムの倉庫に支援物資を保管し、その後、アル・ラムにある自社倉庫に支援物資を戻さざるを得ませんでした。

ガザに届けられた支援品の経費の内訳 （単位：シェケル、1 シュケルは約 4 円）

製品	数量	単価 (送料・保険代込み)	総額（税込）
フリーケ 700g	9,000	8.15	73,350
スパイス入りザアタル 1kg	4,000	21.15	84,600
マジョールデーツ・ペースト 1kg	4,590	20.6	94,554
小計			252,504
合計（運搬費込）			271,206



支援物資を準備するアルリーフ社のスタッフ

➤ ヨルダン・ハシェミット慈善機構（JHCO）を通じた支援物資配送

アルリーフ社は、ヨルダン王室が管轄する JHCO を通じて支援物資をガザへ届けることを決定し、2024 年 8 月 25 日にヨルダンへ支援物資を発送しました。そして、2024 年 10 月 25 日に、ガザ北部にある PARC の倉庫にようやく物資が到着しました。



JHCO はアンマンの倉庫からイスラエル領内を經由し、北部のジキム検問所を通してガザへ輸送。PARC のガザ支部が支援物資を受け取り、スタッフがボランティアと共に PARC の支援対象区の人々へ配布しました。

JHCO は、国内外での慈善活動、人道支援、難民支援を行うヨルダン王室直属の非営利団体です。様々な非営利団体や組織と協同して、世界中の被災地域や難民を支援しています。パレスチナやガ

ガザ地区の人々への支援も実施し、学校や医療センター、難民キャンプの設立・管理も担っています。アルリーフ社は、JHCO の西岸地区代表を通じて正式な申請を行い、西岸地区においてガザへの支援物資配送ができた唯一の団体となりました。

➤ 支援物資の配布

アルリーフ社がガザに送った支援物資の分配は、PARC が担当しました。PARC は、西岸およびガザ地区で農業開発プロジェクトを展開しており、現地スタッフとボランティアが、難民キャンプ、UNRWA の学校、避難所などで被災した人々へ支援物資を配布しました。



➤ 第2便および今後の支援について

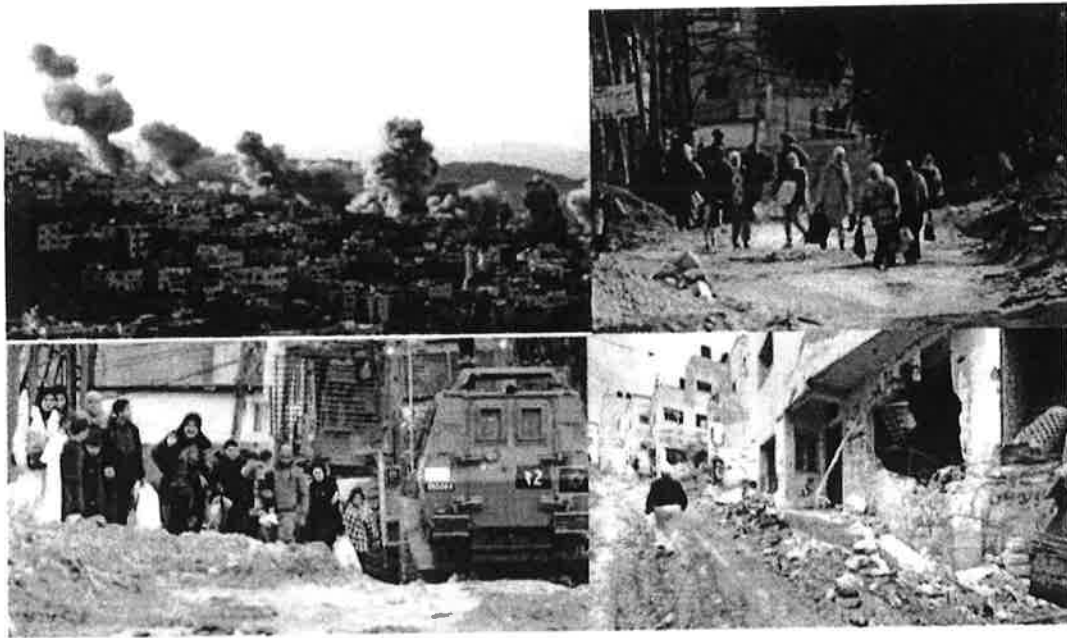
キャンペーンによる残りの資金と、現在も継続的に寄せられている国際的な支援により、アルリーフ社は第2便の支援を近目中に計画しています。第2便には、2024年産の新しいオリーブからとれたオリーブオイルを主に届ける予定です。これは、売れ残ったオリーブオイルの買い取りによる農家支援（2年連続で状況が困難な中で収穫・製造）と、ガザの人々への人道支援という二重の効果があります。

アルリーフ社は、このキャンペーンに関わったすべての人々に深く感謝しています。ガザ地区での危機の規模に比べればささやかな支援かもしれませんが、何らかの形で行動を起こす一人ひとりの貢献に心より感謝申し上げます。

【西岸地区の状況】

2025年初頭より、イスラエル軍はヨルダン川西岸北部のトゥルカレムやジェニン、同市内にある難民キャンプに対し継続的な攻撃を行っています。

ジェニン難民キャンプでは、21,000 人が避難を強いられ、市の報告によると、すべての道路/通路が破壊され、キャンプに住んでいた 3,200 世帯が避難、600 棟の住宅が破壊されました。攻撃により 86 日間で 38 人が死亡、数十人が負傷、数百人が拘束されました。



トゥルカレム市街、市内にあるトゥルカレム難民キャンプ、ヌールシャム難民キャンプでは、79 日間の攻撃で 13 人が死亡（子ども 1 人、女性 2 人を含む、女性のうち一人は妊娠 8 ヶ月の女性）。24,000 人以上が立ち退きを余儀なくされ、396 棟の住宅が完全に、2,573 棟が部分的に破壊されました。

上述のように西岸地区でも厳しい状況となっており、アルリーフ社は、今後「ガザに希望を 募金 キャンペーン」の資金の一部を、ジェニンとトゥルカレムの難民キャンプにおける人道支援プロジェクトに転用することを検討しています。その場合、アルリーフ社は計画内容について寄付者の皆様にご報告いたします。これらのキャンプではすでにインフラが荒廃し、破壊された衛生設備、水不足などの問題を抱えています。十分な換気や基本的なサービスのない過密な住環境での生活、失業率と貧困率も高く、現在では数千人が避難生活を再び強いられています。



西岸地区とガザ地区に存在する 32 の難民キャンプは、1948 年にパレスチナ人が強制移住させられたナクバを再現する状況におかれています。

以上



PARC'S INTERVENTIONS IN GAZA STRIP

OF BENEFIT CASES

4,554,838

支援を受けた人数の総数

食料支援

2,445,952

BENEFIT CASES

生活用水の支援

1,704,912

BENEFIT CASES

その他の支援物資

403,974

BENEFIT CASES

PARC'S INTERVENTIONS IN GAZA STRIP

食料支援

18,892枚



食料引換券

PARC has distributed 18,061.2 E-voucher to benefit

94,464人分

people in Gaza Strip

370,944パック



食料パック

PARC has distributed 252,432 food parcels (fresh, canned) to benefit

1,854,720人分

people in Gaza Strip

295,200



温かい食事

PARC has distributed 262,656 hot meals to benefit

590,400人分

people in Gaza Strip

738セット 赤ちゃん用品 (ミルク、栄養剤)



PARC has distributed 678 baby care kit to benefit

738人分

people in Gaza Strip

生活用水の支援

114,048 トン



飲料水

PARC has distributed 98,208 m3 to benefit

1,026,120人分

people in Gaza Strip

93,254セット



洗面用具など

PARC has distributed 50,239 Hygiene kits to benefit

466,272人分

people in Gaza Strip

10,920セット



生理用品

PARC has distributed 2,442 Dignity kits to benefit

10,920人分

Women in Gaza Strip

204個



簡易トイレ

PARC has distributed 152 WC facilities to benefit

201,600人分

people in Gaza Strip

その他の支援

6,930
テント

PARC has provided 6,069 shelter to benefit



160,524人分

避難して寝る場所がない人々へ

5,522
赤ちゃん用品

PARC has distributed 4,098 baby essentials packages to benefit



5,522人分

ガザ地区内の赤ちゃん

18,058
毛布・マットレス

PARC has distributed 7,542 blankets to benefit



97,288人分

避難して寝る場所がない人々へ

23,328
衣服

PARC has distributed 10,858 clothes bags to benefit



140,640人分

避難して寝る場所がない人々へ

「Stop Gaza Starvation（ガザの飢餓を止めろ）」 キャンペーンの報告（2025 年 2 月）

人道支援と再建のための努力が盛り込まれた 2025 年 1 月 19 日の停戦合意にもかかわらず、イスラエル占領政府は、その実施を組織的に妨害してきています。

UAWC では、拡大する危機への対応として人道支援活動を大幅に強化してきました。「ガザの飢餓を止めろ」キャンペーンは、緊急救援物資を配布し、生計の維持を応援し、避難生活を余儀なくされている家族を支援するというミッションを掲げ、揺らぎない活動を続けています。多様な取り組みを通じて、長期的な回復力のために活動するとともに、被害を受けた人びとの最も差し迫ったニーズに応えることを継続していきます。



パレスチナ農業開発センター（UAWC）

2025 年 2 月 23 日

<2023 年 10 月から 2025 年 2 月までの主要な実績>



給水と衛生設備

Water Access and Sanitation:

21,700

cubic meters of drinkable
water were distributed

トンの飲料水の配布

34

つの移動トイレの設置

mobile sanitation units
installed

財政援助・経済支援

Financial Assistance and Economic Support:



2,209

beneficiaries received unconditional
cash assistance (1,000 ILS per
beneficiary).

2,209 人へ無条件の現金援助
(一人につき1,000ILS=約40,000円)



Job creation programs
implemented for

43

workers

43 人の雇用創出プログラム

農業や家畜への支援

Agricultural and Livestock Support:

180人の農民に対して2850ILS（約115,000円）
相当の農業資材の支援

2,850 ILS worth of agricultural
inputs distributed per farmer for

180
farmers

11,759

livestock herders supported
through veterinary kits and
animal feed distribution.

家畜所有者に対して、家畜の健康を維持するために必要な物資と飼料の配布

地域サービスとその他の援助

Community Services and Other Aid:

子どもの衣服8000着、500セットの
衣料品パッケージの配布

27 production units were established 27つの生産部門を設立	8,000 children's clothing items distributed, along with 500 clothing packages	5,000 blankets and mattresses were distributed 毛布とマットの提供
25 tents provided for displaced families	25 tons of firewood distributed for heating and cooking	103,077 essential services delivered, including education, trade, legal aid, and disability support

避難家族へ
テントを提供

暖房や調理のための
薪 25 トンの配布

教育、通商、法律支援、
障がい者への支援など、
必要不可欠なサービス

UAWCの今後の活動計画

Future Actions

In the coming months, UAWC plans to:

- ▶ Expand food and water assistance, including fresh food distribution and desalination projects.

食料（生鮮食品を含む）、水、衛生品の配布の拡大

- ▶ Establish emergency shelter camps equipped with sanitation and essential services.

衛生設備や必要不可欠なサービスを提供した緊急避難キャンプの設置

- ▶ Strengthen livelihoods by supporting farmers and livestock herders with cash grants and agricultural resources

現金支給や農業資材の配布を通じた農民や家畜所有者の支援強化

- ▶ Continue mobilizing support to sustain relief efforts and rebuild Palestinian communities.

救援活動の継続とパレスチナ人コミュニティ再建のための支援の結集

2025年2月までに、本キャンペーンで支援を受けた人の合計は

延べ1,193,760人にのぼります。

Cumulative Impact:

As of February 2025, the campaign has benefited over

**1,193,760
individuals**

underscoring UAWC's steadfast commitment to supporting the Palestinian people through emergency relief and sustainable recovery.

緊急救援と持続可能な復興支援を通してパレスチナの人びとを支援するというUAWCの確固としたコミットメントを強調します。